



[公財] 日本太鼓財団

NIPPON TAIKO FOUNDATION

会報

発行・編集 2013年 4月

〒107-0052 東京都港区赤坂1-2-2 日本財団ビル5階

公益財団法人日本太鼓財団 理事長 塩見 和子

Tel.03-6229-5577 Fax.03-6229-5580

URL:<http://www.nippon-taiko.or.jp> Email:info@nippon-taiko.or.jp

第15回日本太鼓ジュニアコンクール ～石川県金沢市で開催～ 「手取亢龍若鮎組」が2度目の栄冠に輝く!!



(選手宣誓…「由布はさま太鼓」高森雄太さん)

3月24日(日)、日本太鼓財団主催、石川県支部・石川県太鼓連盟主管により第15回日本太鼓ジュニアコンクールを石川県金沢市の金沢歌劇座において満員となる2,000名のお客様を前に開催いたしました。

内閣総理大臣賞、総務大臣賞、文部科学大臣賞を目指して全国35都道府県(予選実施34支部415チーム4,420名、支部推薦3チーム)から選抜された47チーム556名に加え、ブラジルチーム(12名)、台湾チーム(14名)(最年少6歳、出場者平均年齢13.6歳)が出場しました。

開会式は、優勝旗を持った前年度優勝の「輪島・和太鼓虎之介」(石川)とブラジルの優勝チーム「天龍和太鼓」、今大会から本選出場となる台湾の優勝チーム「葫蘆墩(ふるとん)Smile太鼓團」を中央に、全チームが整列して行われました。

国歌斉唱に続き、日本太鼓財団塩見理事長、石川県竹中博康副知事、金沢市濱田厚史副市長、浅野石川県支部長が挨拶。そして、「輪島・和太鼓虎之介」より優勝旗並びに優勝杯が返還され、優勝杯レプリカと長胴太鼓一鼓(1尺6寸)が贈呈されました。

続いて抽選で出演順1番目となった大分県代表の「由布はさま太鼓」の高森雄太さんが、堂々とした選手宣誓を行い、次いで長谷川副会長による初っ切り太鼓が演奏されいよいよコンクールが幕を開けまし

た。出場49チームは、大会要領に基づき長谷川副会長作曲による課題曲「挑戦」と自由曲を制限時間である5分以内で演奏しました。

各団体の演奏が終わる度に、チームの頑張りに対して満員のお客様より心からの拍手と声援が送られました。

49チームの演奏の後、前回優勝した「輪島・和太鼓虎之介」(石川)が特別演奏を披露し、全ての演奏が終了しました。閉会式では、審査委員の渡辺貞夫氏と喜多郎氏の講評と塩見審査委員長より総評があった後、審査結果が発表され、「手取亢龍若鮎組」(石川)が栄えある内閣総理大臣賞に輝きました。

優勝チームが発表された瞬間、会場の張り詰めた空気が一転し、割れんばかりの拍手が沸き起こりました。

「手取亢龍若鮎組」は、9歳から18歳までのメンバー11名で構成されたチームで、安江信寿氏の指導の下、練習を積み重ね、8年ぶりに見事、2度目の優勝に輝きました。また、「信濃国松川響岳太鼓子供会」(長野)が準優勝として総務大臣賞を受賞。第3位には「葫蘆墩Smile太鼓團」(台湾)が海外チームとしては初めて文部科学大臣賞を受賞し、会場からは大きな歓声が上がりました。

出場全チームがこれまでの練習の成果を余すところなく発揮し、共に競い合った一日でした。今回の大会を通じて多くのことを学び、今後の活動に活かしていくことを期待しております。

また今回もインターネットによる全世界生中継を行い、会場に来られなかった方々や外国の太鼓愛好者等から大変好評を博しました。開始直後よりブラジルなど海外からも感想などの書き込みが寄せられました。

最後に、審査委員、技術委員の先生方、ご父兄並びにご来場の皆様、そして大会運営のために行き届いた心配りをして下さった160名近い石川県支部スタッフ・ボランティアの皆様にご心より感謝とお礼を申し上げます。

受賞一覧

優勝・	内閣総理大臣賞	手取亢龍若鮎組(石川)
準優勝・	総務大臣賞	信濃国松川響岳太鼓子供会(長野)
第3位・	文部科学大臣賞	葫蘆墩 Smile 太鼓團(台湾)
第4位		火の神乙女太鼓 爽(鹿児島)
第5位		轟太鼓道場(宮崎)
特別賞	金沢市長賞	天龍和太鼓(ブラジル)
	石川県議会議長賞	山川ツマベニ少年太鼓(鹿児島)
	(社)石川県太鼓連盟賞	天城連峰太鼓(静岡)
	日本太鼓財団石川県支部賞	熊本市立必由館高等学校 和太鼓部(熊本)
	テレビ金沢賞	おおむら太鼓連くじら太鼓(長崎)
	北陸放送(株)賞	由布はさま太鼓(大分)
	金沢ケーブルテレビネット(株)賞	二丈絆太鼓 華組(福岡)
	金沢商工会議所賞	大和太鼓保存会鼓天童子(佐賀)
	北陸三県太鼓協会賞	人吉ねぶか太鼓(熊本)
	株式会社浅野太鼓楽器店賞	山木屋太鼓(福島)
	ブラジル太鼓協会賞	養父太鼓 鼓彩(兵庫)
	台湾太鼓協会賞	由布はさま太鼓(大分)
	日本太鼓財団特別賞	葫蘆墩 Smile 太鼓團(台湾)
	日本太鼓財団特別賞	天龍和太鼓(ブラジル)

*優勝した「手取亢龍若鮎組」(石川)から感想文をいただきましたので掲載致します。

「一生懸命が美しい」 指導者 安江信寿

「一生懸命」「心ひとつ」を合言葉に、11名の子供たちと、夢に向かって稽古を始めました。

まず子供たちには演奏技術も大切ですが、心ひとつになることの大切さを口うるさく言ってきました。

- ・大きい声で返事すること。
相手の目を見て返事すること。
- ・体育館(稽古場)に出入りする時は一礼。
- ・目上の人と挨拶するときは、立ち止まって。
歩きながらはダメ。
- ・家族、先輩に対する言葉使い。
- ・洋服、衣装はきれいにたたむこと、
履物は揃えること・・・
- ・上手な演奏より気持ちがこもった良い演奏。
- ・ステージでは、頑張るのは君たちだから、
仲間を信じて「一生懸命、心ひとつ」

一日の稽古に半分は、子供たちとまるで道徳の時間でした。

子供たちも、少しずつ一生懸命の顔になってくる。

当日、子供たちには「心ひとつ」になる為、体育館での稽古が一番大切だったのだから、失敗を恐れず今日は思い切り太鼓を楽しんで打って来なさいと、送り出しました。

今、ステージでは子供たちが「一生懸命」心ひとつになって太鼓を打っています。一人ひとりの顔が、自信に満ち溢れ、美しく輝いています。

演奏が終わり舞台袖では、全てを出し切った満足感の涙で溢れています。結果を聞く前なのに。

今回も、たくさんの方に応援して頂き、ささえられました。

子供たちと一緒に感謝を忘れないで、これからも「一生懸命」がんばります。

本当にありがとうございました。



(優勝「手取亢龍若鮎組」・石川)

審査委員

塩見 和子(財団理事長)*審査委員長
王 妙 涓(台湾太鼓協会理事長)
岡田 知之(洗足学園音楽大学名誉教授)
喜 多 郎(演奏家)
西角井正大(日本大学大学院芸術学研究科講師)
長谷川 義(財団副会長)
古屋 邦夫(技術委員会委員長)
渡辺 貞夫(演奏家) (五十音順・敬称略)

第16回大会は、福島県郡山市で開催!

第16回日本太鼓ジュニアコンクールは、来年2014年3月23日(日)、福島県郡山市の郡山市民文化センターにて開催致します。

最後のジュニアコンクール

ジュニアリーダー 原田 結実(18歳)

今回のジュニアコンクールが私にとって最後の大会でした。高校2年の大会を最後として受験勉強に専念することを考えていましたが、その大会では全国大会に出場出来ず悔しさが残りリベンジしたいと思いました。でも国立大学受験と両立することが厳しいと不安で悩んでいた時、いつも私を励ましてくれる祖母が病気で倒れ病床での「もう一回結実の太鼓が見たい。」という言葉で私は太鼓を続ける決心をしました。そして迎えた県予選で最優秀賞になり全国大会出場の夢が叶いました。

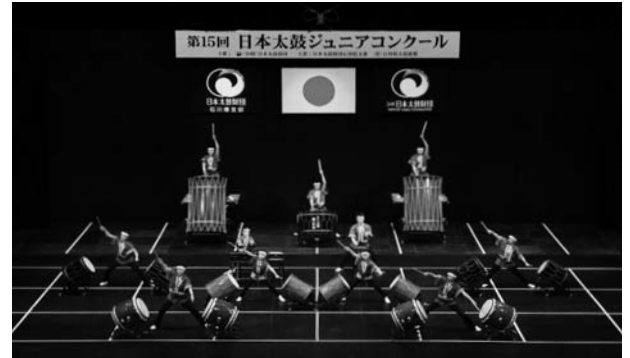
1月に入ってから太鼓練習と受験が大変になりくじけそうになった時もありました。でも受験は自分一人のことだけど、太鼓はチームなのでメンバーのためにも頑張ろうと思いました。

私はチームの中で最年長で必然的にリーダーとなりましたが、元々自己表現が苦手なリーダーシップを発揮できるタイプではなく、メンバーには迷惑をかけたが、サブリーダーをはじめメンバーが私をフォローしてくれて、年齢に関係なく仲間となることができました。

私は太鼓を通してみんなで心をつなげて一つのことをやり遂げることの難しさと、それを通して成し得た時の達成感を学びました。私が13年間太鼓を続けてこれたのは、私達のためにいつも厳しく指導して下さる安江先生と一緒に目標に向かって頑張る仲間、応援して下さる方々のおかげだと思っています。私は13年間の集大成として、一打に心を込めて精一杯演奏しました。演奏後はやり切ったので充実感で一杯でした。

今回優勝できたのは、安江先生をはじめ、一緒に

頑張ってきた仲間、若鮎の先輩達を含むたくさんの石川のスタッフに支えられて最高の舞台になったからだと思います。地元の人がたくさん応援してくれた中で優勝できて本当に嬉しいです。8年前と今回と、若鮎組で2回の優勝を経験したのは私だけなので、誇りに思っ、皆さんの人達への感謝の気持ちを忘れずに、今後の若鮎組のために貢献していきたいと思っています。



(優勝時の演奏)

メンバー 山先 柚芽(10歳)

日本太鼓ジュニアコンクールで優勝できてとてもうれしかったです。他のチームもすごく上手だったので最後に「若鮎」の名前がよばれた時は、すごくびっくりしました。

全国大会は、すごくきんちょうしたけど、みんなで心をつなげて笑顔でたたけました。私は太鼓が大好きです。みんなといっしょに太鼓をたたくのがとても楽しいです。全国大会では、きんちょうすぎて少し失敗したので、これからたくさん練習しなければならないなと思いました。これからもいろんな人に「若鮎」のえんそうを聞いてもらいたいです。

海外太鼓交流～ブラジル・台湾招請～

ジュニアコンクールには、9回目となるブラジルと3回目となる台湾のチームが出場しました。ブラジルからは昨年7月に行われた「第9回全ブラジル太鼓選手権大会」のジュニア部門(13団体156名参加)で優勝した「天龍和太鼓」の13歳から18歳の男女12名と、引率8名の総勢20名が来日。台湾からは昨年11月に行われた「第3回台湾太鼓選手権」(21団体284名参加)で優勝した「葫蘆墩Smile太鼓團」の12歳から18歳の男女14名と、引率7名の総勢21名が来日しました。

大会前日には、ブラジルチーム、台湾チーム、前年度優勝の「輪島・和太鼓 虎之介」を交えて交流会を行いました。子供達はすぐに打ち解け、英語を駆使しながら交流を深めていました。

「天龍和太鼓」は今大会で「最上川」を演奏し、台

湾の「葫蘆墩Smile太鼓團」は長谷川副会長作曲の「焱」を披露しました。それぞれ課題曲とともに、日本のジュニアチームに引けを取らない見事な演奏を披露しました。



(兼六園でのブラジル・台湾チーム)

その結果、台湾チームは海外チームとして初の第3位・文部科学大臣賞を受賞、ブラジルチームは特別賞を受賞し、海外における太鼓演奏の技術の向上が感じられました。メンバーたちは日本のジュニアチームのレベルの高い演奏を目の当たりにして感動した、自分達も益々がんばっていきたくと話していました。

大会翌日には台湾チームは金沢城公園を訪れました。浅野太鼓楽器店では、太鼓の作り方を見学、説明を熱心に聞いていました。その後、空港へ移動し帰路につきました。ブラジルチームは、午前中に浅野太鼓楽器店で特別太鼓講習会を受講後、静岡県浜松市まで移動して翌日、ボートレース浜名湖にて太鼓演奏を行いました。その次の日には浜松市内のブラジル人学校で太鼓演奏を披露し、生徒と関係者約250人は大変盛り上がりました。

翌日、横浜の海外移住資料館を見学した後、日本財団を表敬訪問し、佐藤常務理事よりねぎらいと励ましのお言葉をいただきました。日本の印象などを聞かれ、緊張しながらも一人ひとり一生懸命に答えていました。

今回はこれまでになく日本語を話せるメンバーがいたものの、十分に会話ができるわけではなく、これから来日するチームには日本語をもっと勉強してくるよう伝えると反省していました。

穏やかな春の陽気の中、折しも桜が満開を迎え、「太鼓演奏はもちろんのこと、あこがれの日本で素晴らしい体験をし、一生忘れない良い思い出となった。皆様に感謝したい。学んだことを活かして、これからもがんばって太鼓を続けていきたい。」と張り切って帰国しました。

<第56回日本太鼓支部講習会(東京)>

2月16・17日(土日)、東京都支部主催による支部講習会が東京都港区の「日本財団ビル」で行われました。今回は地元東京都をはじめ、64名が参加しました。開会式では宮本芳彦東京都支部副支部長から挨拶があり講習会が始まりました。初日に塩見理事長も駆けつけ受講生たちを激励しました。

- 基本講座講師 総合指導 古屋 邦夫
- 3級基本講座 松枝 明美
- 4級基本講座 渡辺徳太郎
- 5級基本講座 渡辺 洋一

◇技術認定員検定の結果は次のとおりです。

- 3級基本講座 12名受験 12名合格
- 4級基本講座 17名受験 17名合格
- 5級基本講座 35名受験 35名合格



(5級基本講座の様子)

<第46回日本太鼓全国講習会(宮崎)>

2月23・24日(土日)、全九州太鼓連合、宮崎県支部主管による全国講習会を宮崎県新富町「新富町文化会館」にて実施いたしました。全国18都府県に加え、台湾とシンガポールを含めた184名が受講、また、同時に開催された公認指導員更新研修会には16都府県から40名が参加しました。開会式では財団塩見理事長と宮崎県支部の甲斐支部長から励ましと歓迎の挨拶があり、講習会が始まりました。暖かな気候と晴天に恵まれ、2日間の講習会は無事終了しました。

- 基本講座講師 総合指導 古屋 邦夫
- 3級基本講座 安江 信寿
- 4級基本講座 若山 雷門
- 5級基本講座 田中 俊己

- 専門講座講師 三ツ打太鼓講座 河合 睦夫
- 助六太鼓講座 今泉 豊
- 縮太鼓講座 長谷川 義

◇技術認定員検定の結果は次のとおりです。

- 1級検定 14名受験 14名合格(3名認定)
- 2級検定 42名受験 42名合格(14名認定)
- 3級検定 18名受験 18名合格
- 4級検定 30名受験 30名合格
- 5級検定 59名受験 59名合格

(4級基本講座の様子→)



ジュニアコンクールのブロック大会が開催！

〈第7回全九州・日本太鼓ジュニアコンクール〉

1月20日(日)に全九州太鼓連合主催の「第7回全九州・日本太鼓ジュニアコンクール」が、九州7県より50チームが参加して宮崎で開催されました。今年は、全九州太鼓連合と台湾太鼓協会の協議により双方の大会で優秀な成績を収めたチームが出演することとなり、台湾の準優勝チーム「勁太鼓」(じんたいこ)が特別出演致しました。

会場となったシーガイアコンベンションセンター(宮崎県宮崎市)は、2,000人を収容する施設で、参加団体と応援に駆け付けた観客で満員となり、朝早くから熱気に溢れていました。各県で開催された支部大会での参加団体数に応じて県の出場数が決まることから50チームが参加する大会となりました。

レベルの高い争いを制し、地元宮崎県から出場した「太鼓研修センター『響』」が優勝しました。

審査委員並びに成績結果は、次の通りです。

<審査委員>

長谷川義(全九州太鼓連合名誉会長) * 審査委員長
松元和敏(鹿児島・1級公認指導員・全九州技術委員長)
田中俊己(長崎・1級公認指導員・財団技術委員)
野方嘉孝(佐賀・1級公認指導員)
八木一彦(佐賀・1級公認指導員)
野本敏章(福岡・2級公認指導員・全九州技術委員)
久保田宏之(宮崎県・宮崎県吹奏楽連盟名誉顧問)

<成績結果>

優勝：太鼓研修センター「響」(宮崎)
準優勝：轟太鼓道場(宮崎)
第3位：おおむら太鼓連くじら太鼓(長崎)
第4位：熊本市立必由館高等学校和太鼓部(熊本)
第5位：諫早天満太鼓ブルー(長崎)
特別賞：山川ツマベニ少年太鼓(鹿児島)、火の神乙女太鼓爽(鹿児島)、日向の国「響」(宮崎)、華太鼓かんなの会「ふじ組」(宮崎)、志布志ちりめん太鼓(鹿児島)、不知火太鼓Jr(佐賀)
財団賞：霧島九面太鼓保存会 郷花(鹿児島)
<参加団体> 50団体
福岡6、長崎5、佐賀7、大分5、熊本7、宮崎13、鹿児島7
特別出演：4団体
「勁太鼓」(台湾ジュニアコンクール準優勝チーム)
中央保育園、住吉東保育園、富吉保育園合同チーム



(台湾・勁太鼓の演奏)

〈第1回東北太鼓ジュニアコンクール〉

2月11日(月・祝)に東北太鼓連合の主催による「第1回東北太鼓ジュニアコンクール」が、福島民報社との共催で東北6県より22チームが参加して1,600名の観客を集めて行われました。

昨年の大震災により被害を受けた太鼓団体への日本財団からの太鼓支援と全国からの支援金をきっかけに昨年の5月に東北太鼓連合が発足し、その事業の1つとして、太鼓団体のジュニアの技術向上と交流を目的に開催されました。

会場の福島県文化センター(福島県福島市)には、折からの雪にも拘わらず、朝から熱心な観客が集まり開演いたしました。優勝した「岩代国郡山うねめ太鼓保存会小若組」は、福島県大会では優勝を逃して全国大会には出場できないため、その分まで演奏に力を入れたとのことでした。

審査委員並びに成績結果は、次の通りです。

<審査委員>

鈴木 孝喜(秋田・1級公認指導員) * 審査委員長
龍 連山(山形・1級公認指導員)
渡辺徳太郎(福島・1級公認指導員)
斎藤 道夫(福島・1級公認指導員)
祓川 千寿(福島・1級公認指導員)

<成績結果>

優勝：岩代国郡山うねめ太鼓保存会小若組(福島)
準優勝：帝京安積高等学校和太鼓部(福島)
第3位：山木屋太鼓(福島)
第4位：和紙の里 和雅美太鼓(福島)
第5位：大曲太鼓道場(秋田)
特別賞：松川一の宮太鼓はな組(岩手)、奥州水沢颯人和太鼓乃会(岩手)、天栄山黄金太鼓保存会(福島)
財団賞：あそびっ鼓組“遊”(青森)
<参加団体> 22団体
青森1、岩手5、秋田2、山形2、宮城5、福島7
特別出演：3団体
うねめ太鼓ゆき組(郡山市)、一響乱一和雅美太鼓(二本松市)、山木屋太鼓 山猿(川俣町)
* 福島県のジュニア全国大会経験者による太鼓チーム



(岩代国郡山うねめ太鼓保存会小若組の演奏)

助六太鼓保存会が東京ロータリークラブに演奏協力

1月9日(水)、東京の帝国ホテルにおいて東京ロータリークラブの新年初例会が開催され、助六太鼓保存会が演奏を行いました。東京ロータリークラブは日本初のロータリークラブとして発足し、社会奉仕と国際親善を目的としたクラブです。このロータリークラブの新年初例会に太鼓演奏の要請を受け、出演協力を行ったものです。

江戸前らしい粋で新年に相応しい迫力ある演奏と獅子舞を披露し、約200名の関係者が大変熱心に見入っていました。



(助六太鼓の演奏)

霧島九面太鼓保存会 40周年にあたって

霧島九面太鼓保存会 会長 脇元 勝己

霧島九面太鼓保存会は、1972年鹿児島県の和太鼓の先駆けとして牧園町(現霧島市)商工会青年部の活動の一環として発足いたしました。現在では霧島市無形文化財として霧島市を始め、鹿児島県の地域振興を目的として活動を続けてまいりました。発足時にはなかった女性グループ「和奏」、ジュニアグループ「郷花」も誕生し活動を行っています。

これまで、1984年に牧園町で開催された第35回全国植樹祭を始め、各種の全国大会に鹿児島の郷土芸能として出演した他、海外での公演も多数行い、和奏は、全国各地での公演活動や地元学校青少年育成の活動、郷花は、2005年の愛知万博に日本代表として出演するなど多方面で活躍してまいりました。

このように40年の長きにわたる活動を行うことができましたのも、ひとえに皆様方の温かいご支援があったからこそと心から感謝する次第であります。

今後も保存会メンバー一同、いっそうの努力をし皆様のご愛顧にお答えしていく所存でございます。変わらぬご支援、ご協力いただきますようお願い申し上げます。



(霧島九面太鼓保存会の演奏)

武蔵国府太鼓創立30周年にあたって

武蔵国府太鼓連盟 会長 佐藤 祐三

チーム名の由来ともなった武蔵の国の国府がおかれた東京都府中市に、新たな郷土芸能として武蔵国府太鼓が創立されてから30年が、経過いたしました。

毎年、府中市のご協力をいただき一般講習生を募集していますが、例年80名程の応募があり、30期生で延べ2,400名の方々に武蔵国府太鼓を経験していただきました。また、府中市内の小学校7校、中学校4校、高校1校の和太鼓クラブが武蔵国府太鼓に取り組んでいます。

秋恒例の府中市民芸術文化祭では、各学校と一般3団体、連盟3団体にて発表会を開催しております。

30年間の実績として、日本太鼓財団主催の全国フェスティバルや国民文化祭、長野冬季オリンピック、東京スタジアムでのこけら落とし演奏等、国内はもとより、ハワイ・韓国・オーストリア等の海外公演を実施いたしました。

このように幅広い活動ができましたのも府中市をはじめ府中市民や関係各位のご指導、ご支援の賜物と深く感謝いたしております。

今後とも府中市の郷土芸能として武蔵国府太鼓が皆様にさらに愛され、未永く伝承されていくために努力していく所存でございます。



(武蔵国府太鼓の演奏)

理事会・評議員会を開催

第2回理事会並びに第2回評議員会が3月15日(金)に東京にて開催され、次の事項が審議、承認された。

<理事会>

1. 2013年度事業計画及び収支予算について
2. 旅費規程の一部改正について
3. 支部の設立について
4. 評議員会の開催について
5. 職務執行状況について

<評議員会>

1. 2013年度事業計画及び収支予算について
2. 常勤役員の報酬について
3. 職務執行状況について

*4月1日付で開設された沖縄県支部よりご挨拶いただきました。

与座克己支部長(総管太鼓同志会会長)

昨年より、日本太鼓財団に参加する為に、諸準備を進めてきました沖縄県の和太鼓団体です。5団体で日本太鼓財団沖縄県支部設立準備委員会を立ち上げ、昨年の11月に入会申込書と同時に支部開設申請書を無事提出させていただきました。エイサーが盛んな沖縄県においても、和太鼓で頑張っている団体があることを知っていただければ幸いです。

今後、日本太鼓財団の会員として、諸先輩方のご指導、ご鞭撻をいただきながら、沖縄県の和太鼓文化発展のため、頑張っていきたいと思っておりますので宜しくお願い致します。



<加盟団体5チーム・会員数113名>

名護桜太鼓、比屋根華太鼓、安田太鼓、舞葵琉太鼓、総管太鼓同志会

<事務局> 事務局長 上原 清道 Tel. 098-956-7170

1級公認指導員が誕生!

公認指導員の昇級条件となる講習内検定を経て、このたび技術委員会で検討した結果、八木一彦氏(佐賀)が1級公認指導員に認定されました。おめでとうございます!

これで公認指導員は1級44名、2級45名、3級130名、計219名となりました。(2013年3月末日現在)今後の益々のご活躍を期待しております。



成田太鼓祭に参加 ～全国太鼓情報発信基地に多くのお客様～

4月13・14日(土日)、千葉県成田市において「成田太鼓祭」が開催されました。今年は両日も天候に恵まれ、22万人もの人が訪れました。千葉県支部、千葉県太鼓連盟主催、当財団の共催により「全国太鼓情報発信基地」のブースを設置し太鼓を紹介致しました。情報発信基地では、事業紹介のパネルを展示したほか、浅野太鼓のご協力を得て大太鼓をお客様に実際に叩いてもらうコーナーを設け、多くの方々が太鼓に親しまれていました。特に外国人やお子さんが多く皆さん思い切り太鼓を打って楽しんでいました。



(全国太鼓情報発信基地)



(大太鼓を楽しむご家族)

★会報は当財団ホームページでも閲覧できます★

会報はバックナンバーも含め、当財団ホームページの「新着情報」から閲覧可能です。ぜひご利用下さい。

<http://www.nippon-taiko.or.jp/>

事務局だより

第17回日本太鼓全国フェスティバルのお知らせ

期日：2013年7月7日(日) 開場12:30 開演13:00 終演15:30(予定)

会場：砺波市文化会館(〒939-1382 富山県砺波市花園町1-32)

主催：公益財団法人日本太鼓財団 主管：日本太鼓財団富山県支部 協賛：日本財団

入場料 前売券2,500円 当日券3,000円(来賓席を除き自由席)

*チケットぴあにて発売中(TEL 0570-02-9999) Pコード199-883

出演団体：太鼓道場「風の会」(山形)、銚子はね太鼓保存会(千葉)、助六太鼓保存会(東京)、橋太鼓「響座」(宮崎)、
恵那のまつり太鼓(岐阜・障害者チーム)、善通寺龍神太鼓(香川)、富山県合同チーム(富山)、
水舞流越中八幡太鼓保存会(富山)、手取亢龍若鮎組(石川・第15回ジュニアコンクール優勝チーム)

第57回日本太鼓支部講習会(北海道道北支部)

期日：2013年6月15・16日(土日)

主催：日本太鼓財団道北支部

会場：旭川市北部住民センター(旭川市春光5条4丁目)

講座・講師

総合指導 古屋 邦夫(技術委員会委員長)

4級基本講座 渡辺徳太郎(1級公認指導員)

5級基本講座 橋本 光司(1級公認指導員)

申込・お問合せ先：北海道道北支部事務局

〒071-8134 北海道旭川市末広4条4丁目1-20

Tel&Fax:0166-53-5992

携帯:090-2072-4643(五十嵐事務局長)

申込締切日 **5月31日(金)**(当日到着分まで有効)

*詳細は、財団事務局までお問合せ下さい。

*初心者も大歓迎です。

第47回日本太鼓全国講習会(長野県箕輪町)

期日：2013年6月22・23日(土日)

主管：日本太鼓財団長野県支部、みのわ太鼓保存会

会場：箕輪町文化センター(長野県上伊那郡箕輪町)

総合指導：古屋 邦夫(技術委員会委員長)

専門講座：

尾張新次郎太鼓講座(複式単打法)安井 富(愛知)

締太鼓講座(単式単打法) 長谷川 義(大分)

御諏訪太鼓講座(複式複打法) 松枝 明美(長野)

3級基本講座 渡辺徳太郎(1級公認指導員)

4級基本講座 若山 雷門(1級公認指導員)

5級基本講座 安江 信寿(1級公認指導員)

申込先：(公財)日本太鼓財団

TEL. 03-6229-5577 FAX. 03-6229-5580

申込締切日 **5月27日(月)**(当日到着分まで有効)

2013年度日本太鼓助成金交付事業決定のお知らせ

1月11日(金)運営委員会において、次の35事業が承認されました。報告書受理後、助成金20万円が交付されます。

<支部講習会>4事業(海外含む)

6月15・16日(土日)日本太鼓支部講習会(道北)(旭川市)

8月24・25日(土日)日本太鼓支部講習会(宮城)(河北町)

7月13・14日(土日)第7回台湾太鼓講習会(台湾)(台湾桃園縣)

9月28・29日(土日)日本太鼓支部講習会(道西)(岩見沢市)

<教職員太鼓研修会>7事業

6月16日(日)宮崎県教職員太鼓研修会(川南町)

8月未定(日)栃木県教職員太鼓研修会(宇都宮市)

7月28日(日)群馬県教職員太鼓研修会(甘楽町)

9月23日(月祝)長野県教職員太鼓研修会(岡谷市)

8月18日(日)長崎県教職員太鼓研修会(波佐見町)

11月17日(日)岩手県教職員太鼓研修会(奥州市)

8月26・27日(土日)島根県教職員太鼓研修会(出雲市)

<その他>24事業(海外含む)

6月15・16日(土日)能登太鼓研究会(羽咋市)

10月27日(日)第2回茨城県郷土芸能継承育成者、太鼓コンクール(筑西市)

6月16日(日)北海道太鼓一本打ち大会IN岩見沢(岩見沢市)

10月27日(日)日本太鼓ジュニアコンクール北海道道央大会(江別市)

7月5～7日(金～日)第9回UKフェスティバル(伴'リス・インター市)

11月3日(日)台湾太鼓フェスティバル・ジュニアコンクール(台湾員林縣)

7月20・21日(土日)第2回全九州和太鼓マースクール(由布市)

11月3日(日)東日本復興太鼓まつりin山形(酒田市)

8月31日(土)信州太鼓の祭典第16回日本の太鼓inみのわ(箕輪町)

11月4日(月休)佐賀県ジュニア和太鼓交流フェスティバル(佐賀市)

9月1日(日)和太鼓コンサート(井原市)

11月17日(日)大分県太鼓連合コンサート(由布市)

9月8日(日)第16回日本太鼓ジュニアコンクール秋田県大会(横手市)

11月17日(日)第24回東北太鼓フェスティバル(塩釜市)

9月15日(日)第16回日本太鼓ジュニアコンクール福井県大会(越前市)

11月24日(日)第2回岩手県北地域ジュニア芸能交流祭(二戸市)

9月16日(月祝)第3回日本太鼓ジュニアコンクール福岡県大会(宗像市)

9～11月(予定)兵庫こども太鼓まつり(小野市)

10月13日(日)北海道太鼓フェスティバル(釧路市)

2014年

10月13日(日)国際友好和太鼓祭りvol.2

1月26日(日)第8回全九州日本太鼓ジュニアコンクール(佐賀市)

～「加茂綱村太鼓」第8回演奏会(仙台市)

1月26日(日)第6回関八州太鼓まつり(矢板市)

10月19日(土)みやざき太鼓祭(清武町)

2月16日(日)第4回雷童太鼓大会(高山市)